

ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

教員氏名	柴山 昌宣
主な担当科目	オペラ演習 I ③,オペラ演習 I ④,オペラ演習 II,オペラ公演実習,オペラ特別演習①,オペラ特別演習②
シラバス	ここをクリック(本学ポータルサイトトップページが表示されます。) ※画面下「シラバス」>「シラバスを検索するにはこちらをクリックしてください。」をクリック
2023年の教育目標・授業に臨む姿勢	学生たちは積極的にレッスン、授業にはyoutubeやSNSを駆使し、広い視野を持って望んでいる。ところがSNSである歌手の歌唱を参考にして学修はするが、その歌手が誰で、どのような経歴でどんなレパートリーを持つかには興味を持っていないのである。どのような経緯を経て得られた成果ということより、結果を早く知りたいという特徴があるように感じる。演習系の授業、レッスンを担当するにあたり、可能な限り学生に考えさせ、もがく事によってのみ得られる達成感を体験させることを念頭に授業に臨む。
2023年の教育に関する自己評価	留学生のレッスン、授業を担当する事が年々多くなっていることを実感している。音楽的な基礎力も様々であるが、殊に日本語の理解度の個人差への対応方法には細心の注意を払わなければならない。彼らは自国で20数年社会生活を送り、日本において日本語で授業を受けている。母国語であれば理解できているのではないかと教員として常に自問自答しながら留学生一人一人に向かい合える心のゆとりを持ちたいと考える。
2023年のFD活動に関する自己評価	今後しばらく、特に声楽においては大学院進学を希望できる学生の環境づくりを考えなければならない。学部においてよりオペラに興味を持たせる事により、3年次の早い段階でより深い学びの意欲を学生に持たせる。本年度は大学オペラの成功によりその課題がクリア出来たと自負する。
授業改善のために取り入れた研修内容	FD合同分科会のテーマの一つ、留学生とのコミュニケーションという題材においてはこれからも増加していく留学生、特に中国人について深く話し合いが出来た。帰国後の就職のために学位を求めて来日する留学生が多いために日本人とは交流を深める必要性を感じていないが、授業内で指導することでコミュニケーションの場を多く提供するように心がけている。

2023 年度(後期)「学生による授業アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード:0526 教員名:柴山昌宣

1) アンケート結果に対する所見

次回授業の打合せや会議、出張などのために時間通りに実技レッスンが実施出来ない事に関しての回答が複数ある事に対しては改善すべきであると考えている。

2) 要望への対応・改善方策

時間通りに実施出来なかった実技レッスンについては、可能な限り早急に代替の時間を学生と相談し決定する。また遅れて始まる場合はしっかりと遅延の理由を説明し、納得を得るよう務める。

3) 今後の課題

大学オペラが隔年になった事が学生の不満に繋がらないよう、オペラ演習の授業内容をより充実した物にする努力を続ける。

以 上